



WEEKLY BULLETIN

2023-24

Rotary Club of Mino-o

国際ロータリー 第 2660 地区 箕面ロータリークラブ

会長 黄堂 泰昌 幹事 河野 優作 広報委員長 水島 教絵



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー

国際ロータリー第 2660 地区ガバナー 延原 健二

例会場 箕面観光ホテル 例会日 毎週木曜日 18:30~

事務局 〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 (箕面観光ホテル内) Tel:072-724-2781 Fax:072-724-1786

Email: mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP: http://mino-orc.net/

NO.2581

2024年2月15日発行

●今週の例会プログラム

2024年2月15日(木) 第 2590 回例会
卓話 医療基盤・健康・栄養研究所 古賀様

『箕面観光ホテル』

真実から目をそむけることはできない。助けを求めるることは勇気ある行動です。
健康と幸せにいたる道を求めるることは、さらに勇気がいることです

◆前回例会◆

出席報告

・2024年2月8日(木) 第 2589 回

会員数 36名 出席者 19名 (出席率 55.88%)

ゲスト

ガバナー補佐 武枝敏之様 豊中 RC

ガバナー補佐エレクト 長尾依子様 大阪そねざき RC

との記事がありました。

"I feel like when you represent who you are, then you're more proud of yourself. And it makes me feel good that I'm proud of myself."

「自分が誰であるかを表現するとき、もっと自分自身に誇りを持てるような気がします。そして、自分自身を誇りに思えることが私を良い気分にさせるのです」。彼女のルーツはプエルトリコにあるようでプエルトリコの旗をまとって、はきはきと語ったそうです。

米国内の学校で行われている「マルチカルチャーデー」や「インターナショナルデー」といった行事は、文字通り他国や他の地域の文化を学ぶものです。米国外にルーツを持つ児童や生徒が、それぞれの衣装や写真などを展示する。それぞれの食事をふるまう学校もあるようです。また、自分のルーツと関連する国や地域でなくとも、世界の国々の文化を調べて展示することもあります。アメリカ国内のダイバーシティ教育は盛んです。

WBC のパブリックビューイイベントを企画したレッドソックス職員のコメントは、「私たちスタッフは、カルチャーやアイデンティティを祝福し、多様なバックグラウンドを持つ人々がレッドソックスの本拠地であるフェンウェイで歓迎されていると感じられるようなイベントを作るために、できる限りのことをしています。そして、その人たちが野球ファンになってくれたり、フェンウェイに来れば楽しい時間を過ごせるという気持ちになってくれたりすることを願っています」と言っています。

こういったパブリックビューイも「アメリカのメジャーリーグ内のイベント」であり、スポーツの国際大会によって、排他的なナショナリズムに傾くのではなく、それぞれのアイデンティティを認

☑ 4つのテスト 言行はこれに照らしてから

01 真実かどうか

02 みんなに公平か

03 好意と友情を深めるか

04 みんなのためになるかどうか

め、異なるカルチャーを尊重することにつなげようという雰囲気のなかでの少女の言葉が出てきたかもしれません。

「WBCはメジャーリーグ・ベースボール(MLB)がオリンピックに代わる大会として開発したものですから。MLBは、自分たちがコントロールでき、経済的に利益を得られるような大会を望んで来ました。現実的にみれば、MLB主催だからこそ、メジャーリーガーが集まり、大会が成功しているのかもしれません。しかし、WBCが本当に世界の多様性に目を向け、世界に野球を広げていく大会にするためには、WBCがグローバルな市場で利益をあげることだけでなく、本当にダイバーシティと世界的な発展を求めていくのならば、主催するMLBと選手会は、これから回を重ねていく大会において、お金の分配や競技の公平性という難しい問題とも向き合っていくべきとも言えるでしょう。」

今後、日本でも様々な国出身の人々との交流や社会での関わりが増えてくることが予想されます。国や性別に限らず、様々な形でダイバーシティ、多様性を反映させた社会が求められています。

◆幹事報告◆

河野 優作

2月の例会

15日 卓話 医薬基盤・健康・栄養研究所 古賀様
22日 インドネシアンナイト 米山獎学会委員長 林会員
(会場:大阪市心斎橋)

◆SAA報告◆

山根 ひとみ

ニコニコ



堂泰昌会員：武枝ガバナー補佐、長尾ガバナー補佐エレクト
ようこそ！

前田建司会員：武枝ガバナー補佐、本日はありがとうございます

芝野弘三郎会員：武枝様、長尾様、ようこそ！

浦 収 会員：武枝ガバナー補佐、ようこそ！

長尾ガバナー補佐エレクトようこそ！

道林侑輝会員、飛多宏三会員、河野優作会員、木村知也会員

尾崎夏樹会員、本貴雄会員

米山獎学会

西脇 悟会員：武枝ガバナー補佐、ようこそ！

上島一彦会員：武枝ガバナー補佐様、長尾ガバナー補佐エレクト様ようこそ！

道林侑輝会員、林たかみ会員、飛多宏三会員、河野優作会員

木村知也会員、黄堂泰昌会員、前田建司会員、尾崎夏樹会員

芝野弘三郎会員、浦収会員、山本貴雄会員、山下正和会員

ロータリー財団

道林侑輝会員、飛多宏三会員、片山秀樹会員、河野優作会員

木村知也会員、黄堂泰昌会員、前田建司会員、西脇 悟会員

尾崎夏樹会員、芝野弘三郎会員、白坂昌子会員、上島一彦会員
山本貴雄会員

ボリオ

道林侑輝会員、尾崎夏樹会員、白坂昌子会員

恒久基金

道林侑輝会員、飛多宏三会員、西脇悟会員、白坂昌子会員

山下正和会員

◆クラブ協議会◆

§ プログラム委員長 片山秀樹会員 §

コロナが過ぎ去りまして、ノーマルな例会を運営できるようになりました。若い会員が多数おられますので、ロータリーの理解度を深めていただくこと、参加して楽しい例会づくりを目指す、この二つを目標としてプログラムを組んでおります。具体的に申しますと、各委員長卓話の際には、地区での活動や各委員会の内容を新しい会員にも解るように説明していただくことをお願いしております。入会歴の浅い会員は皆さんの中で話す機会が少ないと思いますので、例会のお食事の時に『what's new』のコーナーを設けております。こちらでは、日々の生活の中での出来事や気付きなどを、緊張感をもってお話ししていただいております。



スケジュールにつきましては41回の例会、フォーラム2回、移動例会6回を予定しております。各担当委員長と協力して、滞りなく例会が進むように努めております。社会奉仕委員会の卓話の際は、委員長より外部講師に依頼をいたします。特に箕面ロータリークラブは地域と結びつきが強いので、会員である箕面市長をはじめ、箕面警察、箕面消防、そして先日は箕面クリーンセンターの方に卓話をいただきました。国際奉仕委員会では、毎年、箕面市と国際友好都市提携を結んでおりますメキシコ・クエルナバカ市にあるモレロス大学の留学生を例会に招待して親睦会等を開催しております。

今後とも皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

§ 米山獎学会委員長 林たかみ会員 §

今年度よりインドネシアより2年間の予定でデフォン アディティア ジョブスさんをお迎えしております。大阪工業大学修士課程で生命工学を学ばれておられます。理系にもかかわらず、大変語学が堪能です。日本語も堪能、英



4つのテスト 言行はこれに照らしてから

01 真実かどうか

02 みんなに公平か

03 好意と友情を深めるか

04 みんなのためになるかどうか

語も TOEIC では満点だったようです。ロータリアンとのコミュニケーションも何の問題もありません。お住まいは天満橋で、箕面からは少し遠いのですが、昼間は学校の勉強等で忙しいので、夜の例会を開催しているクラブを選ばれて箕面にお越しになられております。

米山奨学生として、もうすぐ1年が経とうとしておりましたが、例会には必ず参加され、ロータリーソングも歌えるようになっておられます。地区の米山奨学会のイベントにも皆勤賞ではないかというくらい参加されておられます。とてもフットワークが軽く、誰とでも打ち解けられるので感心しております。納涼例会の時は浴衣に着替え下駄をはいて参加されましたし、クリスマス例会にも参加いただきました。今月末開催のインドネシア・ナイト例会を企画するにあたり、彼に相談しましたところ、インドネシアレストランを推薦してくれましたので、そちらで開催することになりました。当日のことについても彼に相談しながら一緒に企画しております。私自身は奨学生とのこのような交流は初めてなのですが、なかなか良いかなと思います。デフォンさんは大学院を卒業された後、日本での就職を希望されておられます。彼が希望通りの分野に進めるように応援したいと思っております。2年間の予定ですので後1年あります。ロータリアンの皆様とデフォンさんが沢山の交流をもって、お互いに楽しい思い出を作っていくように尽力したいと思っております。

§ 社会奉仕委員長 山本貴雄会員 §

社会奉仕委員会として、今年度の事業について報告いたします。



・区補助金事業について

今年度の地区補助金事業につきましては、黄堂会長の指導のもと、委員長のみの活動ではなく、委員会全員での活発な議論により、この近辺へのより社会的インパクトのある事業として『新駅周辺施設への AED 寄贈と救命救急講習会の実施』と決まりました。この事業は、北急線延伸に伴い新駅が二駅誕生いたします。そちらの駅への AED の寄贈となっております。また、補助金事業の一環として、AED の使用方法の講習や防災意識を高めること目的として、箕面市消防と一緒に防災イベントを箕面キューズールで開催いたしました。家族連れなど大勢の方にお越しいただき、講習にも多数ご参加いただきました。

・大阪大学環境サークル『GECS』主催箕面川清掃
クラブとして協賛しているこのイベントには、私自身も子供をつれて毎年参加しております。大阪大学の学生と子どもたち

が一緒になって箕面川を清掃いたします。普段からきれいな川ではありますが、思いもよらぬところに自転車が捨てられていたりと、清掃に携わった子どもたちにとっても環境問題を考える良い機会になっております。

・交通安全卓話の開催

春、秋の年2回、箕面警察の方にお越しいただき、交通安全に関する卓話をしています。

・あかつき園納涼祭協賛、販売協力

今年度は4年ぶりの開催となりました。会員があかつき園にてビール、焼き鳥などを販売いたしました。

§ ロータリー財団委員長 木村知也会員 §

今日まで行われた今年度のロータリーチー財団としての活動は下記2点です。



・昨年9月18日行われた地区補助金事業『新駅周辺施設への AED 寄贈と救命救急講習会の実施』

・昨年10月26日に世界ポリオデーにちなみ地区財団委員からポリオプラス委員長の川上克己会員を招いての卓話

箕面ロータリークラブの皆様の寄付の状況は以下の通りです。

・年次基金寄付 150ドル/年

3年間運用された後すべてを使い切ります。
今日の人々への支援に生かされます。

目標額(クラブ全体) 739,500円に対し 354,000円(会員数34名1月25日付)で47.8%の達成率です。

・ポリオプラス基金寄付 50ドル/年

ビル&メリンド・ゲイツ財団から2倍の上乗せがあり、ポリオ予防接種に使われます。目標額(クラブ全体) 246,500円に対し 301,000円(会員数34名1月25日付)で122%の達成率です。これは10/26の卓話で地区財団委員会の川上ポリオプラス委員長がお越しになるまでに100%達成したいとの黄堂会長の目標に向けて会員皆様のご協力があつたからこそ早期に達成できました。

・恒久基金寄付 30ドル/年

資金は投資され元本は支出せず、収益の一部が財団プログラムに使われます。後世のロータリアンが未永く奉仕活動を継続していくように永久に生かされます。

目標額(クラブ全体) 147,900円に対し 107,000円(会員数34名1月25日付)で72.3%の達成率です。

皆様のご寄付により、順調に100%達成に向けて積みあ

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

01 真実かどうか

02 みんなに公平か

03 好意と友情を深めるか

04 みんなのためになるかどうか

がっていると思います。個人目標の達成はロータリアンの義務でありますので、個人目標に向けてより一層のご寄付を宜しくお願い致します。

新しい会員の皆様、ロータリー財団への寄付はなぜ必要か?との疑問を持たれたことはないでしょうか?どのような社会奉仕事業を行うにも力(経済力)は必要です。寄付を集め、運用を行い、それを原資に我々ロータリアンの社会奉仕活動に充てる為のロータリー財団です。

私達ロータリアンの財団への寄付はロータリー日本財団を経由してロータリーアンダーナショナルへ送られます。そこから約半額を世界での奉仕活動に充て、約半額が地区へとバックされます。地区はその資金をもとに各クラブから申請のあった地区補助金活動やグローバル補助金活動へと補助を行います。

※世界での奉仕活動とは・疾病との闘い・地域経済への発展・平和の推進・水と衛生・母子の健康・教育の支援等

地区的ホームページには挙がっています。

それぞれの寄付に対して目標額が設定されており、それを遵守するように毎年ロータリー財団委員長がお願ひしておられます。それには大きな理由があります。年次寄付の実績は会員一人当たりの目標額150ドル/年を下回ると、翌年のクラブ財団プロジェクトに影響を及ぼします。100~149ドル/年になると補助金額が90%に減額、更に100ドル以下になると80%に減額されます。次年度のプロジェクトの為にも是非一人当たり150ドルの目標額を達成できるようご協力お願ひ致します。

ロータリー財団の協力団体である公益財団法人ロータリー日本財団への寄付金は、特定公益増進法人への寄付金として扱われるため「所得控除」または「税額控除」の対象になります。

§国際奉仕委員長 浦 収会員 §

今年度、国際奉仕委員長を仰せつかっております。私自身、初めて国際奉仕に携わっておりますが、日頃外国はおろか、大阪を出ることも滅多にないような仕事をしておりますが、国際奉仕とは縁遠い生活をおくっております。

今年度の事業は何をしようかと考えていた時に、箕面市よりモレロス大学留学生を例会に招待してほしいという依頼がありました。ちょうどよい機会ということで、10/19に国際奉仕事業として留学生を例会にご招待し懇親会を開催する事にいたしました。箕面市はメキシコ・クエルナバカ市との国際友好都市提携を結んでおります。この



提携は1992年に結ばれており、令和4年に30周年を迎えております。コロナ禍以前はクエルナバカ市にあるモレロス大学より、箕面市には毎年留学生がやってきており、毎年当クラブ例会にご招待して交流しておりました。

ロータリーにとって国際奉仕の定義とは、国際間の理解、親善、親睦、平和推進活動です。会員が国際間で行う活動をすべて国際奉仕とよんでおります。モレロス大学の学生は男女2名ずつの4名、通訳の方など総勢8名でお越しになると聞いておりましたので、まずは会員の皆様と深くコミュニケーションを取れるようなものにしたいと考えました。黄堂会長の計らいで例会時間を1時間延長し、お食事もビュッフェスタイル、テーブルは円卓を4卓準備しました。テーブルに留学生1名ずつ、関係者の方も分かれてお座りいただきまして、会員と存分にコミュニケーションをとっていただけるようにしました。また、事前にスペイン語・ポルトガル語での挨拶、簡単な会話をカタカナで書いたものを皆様お配りして予習をお願いしておいたのですが、留学生の皆さんも日本語がお上手で、楽にコミュニケーションを取ることも出来ました。お互いの国の文化などに触れることができ楽しい会となりましたし、国際交流として有意義な時間を持つことができたのではないかと思います。

◆武枝ガバナー補佐講評◆

講評ではなく、感想を述べさせていただきます。箕面RCには何度も寄せさせていただいておりますので、魅力あるクラブという事は重々承知しておりますが、本日クラブ協議会をお聞かせいただきまして、改めて活気のある素晴らしいクラブだと感じました。楽しい、為になるクラブは栄える、これは社会においても言えることだと思います。クラブの年齢層を見ましても偏らず、きちんとした分布になっており、現在会員は36名おられるとのこと、そして今年度の国際大会にも4名の参加があると聞いております。本当に楽しいクラブで、そして益々発展していくクラブだと確信しております。

以上を私の感想とさせていただきます。



4つのテスト 言行はこれに照らしてから

01 真実かどうか

02 みんなに公平か

03 好意と友情を深めるか

04 みんなのためになるかどうか